

【日時】

2009年12月19日(土) 13:00~18:15

【場所】

法政大学ポアソナードタワー25階 B会議室



- 13:00-13:40 紙屋敦之 (早稲田大学文学学術院教授)
「薩摩の琉球侵攻—東アジアの中の琉球—」
- 13:40-14:20 真栄平房昭 (神戸女学院大学文学部総合文化学科教授)
「女性史から見た薩摩の琉球侵略—その歴史と伝承—」
- 14:20-15:10 Rosa Caroli ローザ・カーロリ (ベネチア大学日本学科教授)
「沖縄県設置における尚泰氏の役割をめぐって」
- 15:30-16:10 牧野浩隆 (沖縄県立博物館・美術館館長)
「日本の安全保障と沖縄経済」
- 16:10-16:50 Josef Kreiner ヨーゼフ・クライナー (法政大学 特任教授)
「沖縄のアイデンティティを考える」
- 16:50-17:30 我部政明 (琉球大学法文学部教授)
「戦後沖縄における自画像」
- 17:30-18:15 総括討論



法政大学沖縄文化研究所・国際日本学研究所
国際シンポジウム

—日本にとって沖縄とは何か— 沖縄史の三つの転換期を再考する —薩摩琉球入り・侵攻400年、琉球処分130年、沖縄復帰—

【共催】

財団法人沖縄協会、International Association of Ryukyuan and Okinawan Studies IAROS (国際琉球・沖縄学会)